

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠驚愕症 等の既往	睡眠驚愕症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよとどか言っているのか?)	旧資料No			
277	B05025587	90	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2006/2/15 2/16~2/17	夕 朝・夕	①2006/2/18 ②2006/2/19 ③2006/2/19	①1:00 ②4:30 ③7:00	-	-	-	解熱過程	No	No	No	-	No	無	2006/2/14 夕方頃より発熱38.3℃、せき、鼻水 2006/2/15 (15:00)熱38.6℃。(17:00)来院。2日間接触のあった者がインフルエンザだったことが判明した為、タミフル及び併用薬を処方(インフルエンザの確定診断は行っていない)。帰宅後タミフル1カプセル服用。 2006/2/16 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2006/2/17 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2006/2/18 (1:00)夜中、大きな声を出し幻覚症状訴える。薬中止。幻覚症状続く。興奮状態。 2006/2/19 (4:30)朝、大きな声がするので見ると部屋のサッシが開いて普段全く出られないところから外へ出た後、廊下に立っていた。左手を痛める(原因不明)。排便後ベッドに入る。(7:00)朝食のため呼びに行くと、また外へ出た座っていた。幻覚あり。暖を取った後、疲れたように眠り続ける。時々水分を取らせるも熟睡。(20:30)夕食。手を痛がる。トイレ時、下着が上げられない。 2006/2/20 (10:00)来院。左手首ねんざ、両下肢に打撲傷、擦り傷あり。 幻覚、異常行動回復。	異-1-74		
278	B05001178	94	年	男性	胃腸出血	2005/3/24	17:30	2005/3/27	17:00	-	No	-	No	解熱過程	No	No	No	No	No	不明	1995/12/26 慢性腎不全にて血液透析開始。 2005/3/24 (午後)39.5℃の発熱のため透析後内科受診。インフルエンザA型と診断。(16:00)入院。38.4℃(17:30)39.4℃。タミフル1cap、ロキソニン1錠服用。タミフル、ロキソニンは1回のみ。(21:00)BT36.7℃。その後は発熱を認めず。 2005/3/25 解熱。 2005/3/26 透析実施。 2005/3/27 (不穏行動の詳細は不明。個室であり、3月27日日曜日であった。少し認知症の気があった。)吐しゃ物の潜血反応検査実施。陽性(出血量としては極少量) この時点から消化管出血があったかは疑問。(17:00)不穏な行動あり、その後嘔吐(潜血反応+) (19:00)一時禁食にしていたが、嘔吐、気分不快なく同日夕食を介助にて摂取した。(この時にはタール便なし) 2005/3/30 (8:00)朝食も半分摂取。気分不快等の訴えもない。(14:15)タール便中等量、胃部痛あり。そのため禁食。(22:20)突然の下血多量(タール便)。顔色不良。その後も下血続いていて、翌日胃カメラを予定される。 2005/3/31 (2:30)呼吸状態悪化。血圧低下。挿管人工呼吸器装着。(3:00)血圧低下。(3:30)心拍数低下(4:27)死亡確認。	異-1-126	
279	B07013381	94	年	女性	異常行動	2007/3/29 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/30 2007/4/1 2007/4/1 2007/4/2 2007/4/2 2007/4/3 2007/4/3	朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/29	夜間	×	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2007/3/29 インフルエンザA型と診断。発症時の自他各症状として発熱(38.5℃)、頭痛、関節痛を認める。タミフルカプセル75の投与を開始(～3月31日朝まで投与)。夜間 異常行動(非重篤)発現。訳のわからない発語とともに屋外に出て行ってしまった。異常行動は回復。その後は特に異常行動はなかった。	
280	B07000403			女性	異常行動	不明	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	本剤投与後、「自分が透明になった。2階に足が引っついて離れない」2時間くらい暴れ、母とおばがしばらく押さえてついでと報告を受けた。もともと患者は精神科に通っている。	異-2-57		
281	B07013378		小児	男性	異常行動	不明		2007/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱性痙攣	不明 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2007/3 3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、当患者だけ、家の中を走り回るなど異常な行動が見られた。 不明 翌日には回復しており一時的であった。			
282	B07000209		青少年	男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	2007/3/2インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始。(75mg×2/日)走行中の車からの飛び出し。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。	異-2-39		